

貿易プラットフォーム利活用に向けた 物流事業者との意見交換会

2025.01.21
株式会社Shippio

会社概要

会社名	株式会社Shippio
代表者名	佐藤 孝徳
設立	2016.6.2
事業内容	デジタルフォワーディングサービス等の 企画・開発・運営
所在地	東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング 15階
Webサイト	https://www.shippio.io/
グループ会社	協和海運株式会社

第一種 貨物利用運送事業者(関自貨第1714号)

第二種 貨物利用運送事業者(国総国物第107号)

一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA) 正会員
国際複合一貫輸送約款(2013)及びWAYBILL約款(2013)(国総国物第107号の2)

2016 ・サークルイン株式会社（現 株式会社Shippio）設立

2018 ・貨物利用運送免許取得
・デジタルフォワーディングサービスV1 リリース

2019 ・デジタルフォワーディングサービスV2 リリース

2020 ・シリーズA資金調達

2022 ・シリーズB資金調達
・協和海運M&A

2023 ・貿易クラウドサービス
Any Cargo リリース

2024 ・経団連加盟
・Shippio Works リリース
・Shippioインサイト リリース

荷主向け

物流サービス

デジタル フォワーディング



貨物の集荷、海上輸送、陸送等の
手配サービスをクラウドサービス
とセットで提供

クラウドサービス

Any Cargo

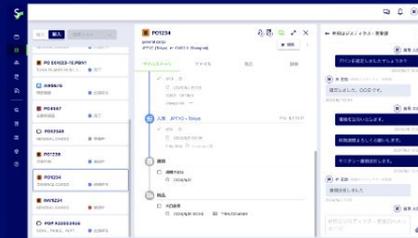


本船動静トラッキング等を備えた
貿易管理クラウドサービスを
SaaSモデルで提供

国際物流事業者向け

クラウドサービス

Shippo Works



国際輸送のあらゆる情報、
コミュニケーションを集約する
プラットフォームサービス

Shippioの取引先企業（一部抜粋）

幅広いお客さまにご利用いただいております。



株式会社ヤマタネ

SANKYU



荷主企業の特徴

▼事業規模

従業員数：10名以上～

▼業種

製造業 / 商社 / 小売業

▼取扱い貨物

自動車部品 / 機械 / 食品 / 家具 / 家電 /
日用品雑貨 / 化学品 / 各種原料・素材 / 鉱物 / …

物流事業者の特徴

▼事業規模

事業売上：50～1000億円未満
従業員数(事業部内)：10人～100人以上

▼事業内容

国際輸送事業(海上輸送手配～国内輸送手配)

壮大な伝言ゲームを”ゼロ”にする

Shippio Works

～国際物流事業者向けのコミュニケーションプラットフォーム～

国際物流事業者の課題

メール・口頭確認による壮大な伝言ゲーム

200~300通のメールを受信、必要情報を探しするのに時間が掛かっている

船社HPチェック、Excel転記、共有メールの送付

Shippio Worksの利用で「ゼロ」に

Shippio Worksを導入した後の世界観

Shippio Worksに必要な情報を集約し、情報の流れを円滑にすることで、コミュニケーションコストを削減し、最適な物流サービスの提供に専念できる環境を実現します。

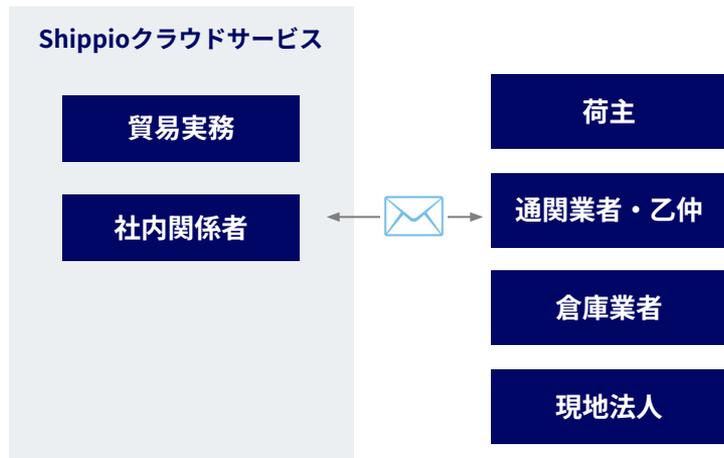


Works Connect

荷主・物流パートナーと**案件毎にコミュニケーション及び書類の共通管理**が可能。
サプライチェーン上のあらゆる外部会社との**業務/情報を集約**できます。

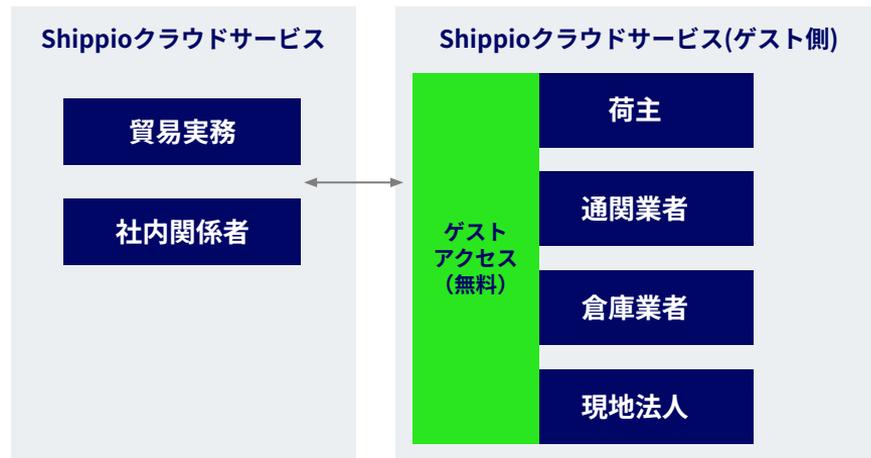
従来

船積みの進捗管理のために外部会社とのメール等の従来コミュニケーションが発生。
管理工数が改善されずメリットが限定的。



本機能

案件毎にサプライチェーン上の関係会社とコミュニケーション及び書類の管理が可能。
管理コスト・オペレーションリスク低減が見込まれます。



AI - OCR

貿易書類をShippio Worksのファイルにアップロードするだけで、自動で読み取り、記入を行い転記作業を軽減

PO# A22003456
SOFA, TABLE, 40FT,
JPNGO (Nagoya, Aichi) ← TWKEL (Keelung (Chilung))

トラッキング準備中です。出港が近づいたらトラッキングを開始します。

マイルストーン **ファイル** 商品 詳細

貿易書類

カテゴリ	ファイル	更新者	アップロード日時

貿易書類は 1 件ありません

その他ファイル

カテゴリ	ファイル	更新者	アップロード日時

その他ファイルはありません

📄 ファイルをドラッグ&ドロップ
もしくは ファイルを選択

共有ファイル (浜松町運輸 東京支店・浜松町運輸 東京支店)

カテゴリ	ファイル	更新者	アップロード日時
------	------	-----	----------

BLファイル取り込み

📄 ファイル選択 DRAFT MBL OC2345.PDF

Oceanic Transports

Shippers/Exporter Oceanic Transports CO., LTD. 3 FLOOR SHIGE BUILDING EAST, SHAKEKE WEST AVE, LEKW DISTRICT, SHEREWKW, CHINA	Document No. 12385R23323		
Consignee (complete name and address) Shippio, Inc ESF Kaminamatscho-building, 1-1-1 SHIBAURA, MINATO-KU, JAPAN	Export Reference		
Notify Party (complete name and address) SAME AS CONSIGNEE	Forwarding Agent Reference		
Pre-charge by Oceanic Transports No NORTH BLUE, 124-E230 TOKYO, JAPAN	Place of Receipt SHEKOU, CHINA		
Container No. / Seal No. CONTE12345674345 ERWKE123123424	Quantity and Package 12N/M	Description of Goods TV BOARD	Measurement and Gross Weight 68.5 CBM 23.5 KGS

Freight Charges

BL No. EKRWOU1234342	Number of Original 3	Prepared at SHEKOU, CHINA	Collected at
-------------------------	-------------------------	------------------------------	--------------

OCR 更新する様

管理番号	4354,643543,123123
貨物名	テレビボード, キャビネット, 靴箱
Master BL 番号	✓ EKRWOU1234342
Shipper	✓ Oceanic Transports CO., LTD.
Consignee	✓ SHIPPIO, INC
ブックング番号	✓ 12385R23323
本船名	✓ NORTH BLUE
Voyage No.	✓ 124-E230
Place of Receipt	✓ SHEKOU, CHINA
POD	✓ SHEKOU, CHINA
POD	✓ TOKYO, JAPAN
Place of Delivery	✓ TOKYO, JAPAN
コンテナ番号	✓ CONTE12345674345
シール番号	✓ ERWKE123123424
数量	✓ 12
内包装	✓ N/M
サイズ (m ³)	✓ 68.5
重量 (kg)	✓ 23.5t

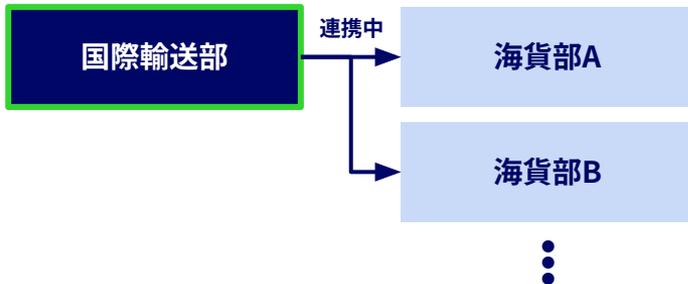
※2025年 春頃実装予定。初期リリースはB/Lのみの対応、順次 A/N、輸入許可書の対応を検討

地方物流事業者様

国際輸送部を中心に他拠点/他部門とのDXを推進中

導入状況

国際物流部門



関連部門



導入効果

案件ごとのファイル/チャットでのコミュニケーションによる
連絡業務工数削減 / オペレーション対応速度向上

本船出港のオリジナルスケジュールとの差分把握による
荷主問い合わせ対応工数削減 / サービス品質向上

導入ステップと今後の展望

- ① 国際輸送部: 海上輸送のトラッキング情報を可視化
- ② 上記取り組みと合わせてその他拠点でのDXニーズ顕在化
- ③ xx支店を中心とした海貨部との連携を強化

貿易手続のデジタル化や貿易プラットフォームの利活用に向けた課題・要望（1/2）

- 物流事業者様から伺う課題

- **何から手を付けていいかわからない**
 - 貿易手続の複雑性やステークホルダーの多さから導入ハードルを引き上げている
 - デジタルツールの取り組み全体像(ロードマップや実行手順)を社内に提示するのが難しく、導入後の進行に懸念がある
- **DX成果が社内評価に繋がらない**
 - DXプロジェクトが具体的なKPI設定や成果指標に基づいていないため、社内評価が困難
 - ”見える”コスト削減（下払い費用・手数料）と違い、”見えない”コスト削減（業務削減・ナレッジ蓄積）は評価されづらい、しづらい
- **システム構築プロジェクトの難しさ**
 - 内製化に挑戦するも、経験不足やリソース不足でプロジェクトが難航
 - 業界全体で成功および失敗事例が共有されておらず、プロジェクトの主導が困難

貿易手続のデジタル化や貿易プラットフォームの利活用に向けた課題・要望（2/2）

- **課題解決（案）：国際物流事業者向けDX検討・導入のガイドラインの整備**
 - **DXプロジェクトの取組手順を明確にする**
 - DXを進める際の具体的なロードマップや検討プロセスを明示することで、DXを検討する企業が、自身をもって最初の一步を踏み出しやすくする
 - **プロジェクト失敗を防ぐための支援**
 - 国際物流事業者のDXの成功事例・失敗事例を整理し、リスク回避のポイントを明確にする
 - **DX成果が評価される仕組みを構築**
 - DXの成果を測定するKPIや成功事例を明確にし、プロジェクトの進捗・成果を誰もが理解できる形で可視化できるようにする
 - **組織体制の整備**
 - DX推進には、専任チームの設置や外部のデジタル人材を巻き込みながら、自社内でプロジェクトをコントロールできる体制を整備する

Shippio

ご不明点・ご要望等ございましたら
下記までお気軽にご連絡ください。

名前： 真畑 皓（マハタ ヒカル）
メール： h.mahata@shippio.io